

(6) 自然の家ゲレンデで練習 13:00～15:30

- ①休憩時間 14:15～14:25
(2日目以降の午前中は10:15～10:25が休憩時間です)
- ②休憩時間を知らせる音楽が流れます。
- ③ゲレンデをスキー靴のまま歩かないよう、指導をお願いします。
- ④各グループごとに引率者等が付くようにしてください。
- ⑤活動時間中は、宿舍の暖房は入りません。

(7) スキー活動終了 15:30

スキー用具の片付け

--- **初日または中日の場合** (翌日もスキー用具を使用する場合) ---

- ①終了後
 - ・ 次の日、所で活動する場合 ⇒ スキー板の雪を落とし、スキー板とストックを指定のスキー架に置く。
 - ・ 次の日、えぼしスキー場で活動する場合 ⇒ スキー板の雪を落とし、トラックにスキー板を積み込む。(所員が指示) ストックは指定されたスキー架に置く。
- ②指定された乾燥室にスキー靴を置き、上靴に履き替える。
- ③部屋に戻り、ウェアを各部屋で乾かす。

--- **最終日の場合** (次の日はスキーをしない場合) ---

- ①終了後
 - ・ スキー板とストックを持って、指定された乾燥室に行く。
 - ・ ブラシで雪を落とす。
 - ・ 乾燥室に置いた上靴を持って体育館に入る。
- ②体育館で上靴に履き替える。
- ③雑巾で、スキー板とスキー靴、ストックの雪を落とし、水分を拭き取る。床に落ちた水滴や雪もきれいにふき取る。
- ④各利用団体で点検後、スキー用具一式を返却する。
- ⑤レンタルしたウェアを返却する。
(引率者が必ず立ち会い、全て返却されたかを利用者名簿で確認)
- ⑥ウェア等の返却後、入所時に貸与されたかご一式、利用者名簿、応急処置記録カードを事務室に提出する。

3 スキー講師・指導者の手配

- (1) 団体は、できるだけスキー指導ができる方を確保して、グループ指導を行ってください。
- (2) スキー講師(有償)を自然の家で紹介できます。希望される場合は、冬型事務手続き資料集の「蔵王自然の家スキー講師依頼申込書(様式第11号)」に記入し、指定された期日までに提出してください。
なお、効果的なスキー教室にするには、1名の講師に対して6～8名程度の児童・生徒数が適当です。特に初心者のグループは10名以下が望ましく、できれば学校・団体の指導者も配置してください。
- (3) 講師料については活動終了後の打ち合わせの際、直接講師にお支払いください。領収書が必要な場合は、各団体で準備してください。
※1日6,000円 半日4,000円
- (4) 講師の昼食について、午前だけの依頼であっても講師の昼食代を負担していただきます。
※午後から依頼する学校・団体については、昼食代は必要ありません。
- (5) 団体で確保した指導者は、一般利用として受け入れます。